

中長期目標 (学校ビジョン)	校訓である「共生」「自立」「感謝」を基調とし、「温かい人間関係」「高い志と生き抜く力」「自己への挑戦」を大切にし社会に貢献出来る人材の育成を目指す。
-------------------	----------------------------------------------------------------------------

今年度の重点目標	1. 個々に応じた基礎学力の向上・資格の取得 2. 規律ある生活態度の育成・徹底 3. 望ましい人間関係の構築 4. キャリア教育の推進と充実・早期の進路決定
----------	------------------------------------------------------------------------------------------

評価基準
 A：ほぼ達成 (90%程度) B：概ね達成 (70%程度) C：まだ不十分 (50%程度) D：方策の見直し (30%以下)

年度当初				評価結果(10月)				最終評価		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方法	評価	目標の達成状況	次年度引継ぎ事項等
個々に応じた基礎学力の向上・資格取得	○個々に応じた学習意欲の喚起	○試験時の出席率が上がっている。(昨年度出席率95%) ○支援の必要な生徒は試験前に保護者を交えて懇談をし、要望を確認。	○学ぶこと、分かることの喜びを知り、意欲的・自立的・計画的な学習展開を図れる。	○1年間の流れを丁寧に説明し、試験やスクーリング等単位認定に大きく関わるものへの出席を促す。 ○支援が必要な場合、どのようなサポートがあれば意欲的になれるのかを本人と確認を取りながら進めていく。また、年間・学期・月・週ごとに小さな目標を決め達成感を持たせていく。						
	○授業の質の更なる向上	○他教科で教科横断的な取り組みが出来ている。 ○自己研鑽としての資格試験にチャレンジすることが出来ている。	○生徒の情報共有し、授業の質を向上させる。 ○職員の自己研鑽が日々行われている。	○教員同士連携を取り、魅力的な授業展開を図る。 ○職員の自己研鑽として、様々な資格取得にチャレンジする。						
	○資格取得率の向上	○漢字検定3級以下合格率59%、準2級3名、2級1名合格。 ○パソコン検定3級以下合格率35%、準2級9名、2級3名合格。 ○漢字検定については55%の目標をクリア。パソコン検定は、目標値未達。各検定とも上位級の合格者が増えた。 ○玄関に上位級を掲示することで、生徒のモチベーションアップにつながっている。	○漢字検定3級以下の合格率60%以上、パソコン検定3級以下の合格率が40%以上、かつ各種検定の上位級(準2級以上)の合格者数を増やす。	○出席率を上げ、授業での検定対策を継続して進めていく。 ○パソコン検定においては、検定取得が就職・進学に有利になること等、動機づけをさらに意識し、検定日までの学習スケジュールを昨年より早めて対策していく。						
規律ある生活態度の育成・徹底	○学校の規律やルールの遵守、公共の場でのマナー向上	○毎月の服装検査を継続することで、服装のルールは徐々に定着してきている。	○社会で通用する身だしなみと生活習慣を身に付けさせる。	○ルールを书面化することで、生徒・職員・保護者とも視覚的に共有し、毎月の服装検査を継続していく。						
	○積極的な挨拶の定着	○玄関での声かけをすることで、登校した生徒の様子や変化に気づくことができていく。	○挨拶をする習慣を身につけさせる。	○玄関先で声かけとともに服装の確認もし、合わせてHR・全校集会でも確認していく。						
	○清掃活動の習慣化、学習環境の整備が整う	○NO見回りdayを設けることで、自主性を高めることができている。ただ、一部の生徒は引き続き個人的なかかわりが必要である。	○自らが率先し毎日清掃活動を行う姿勢を身につけさせる。	○清掃場所の確認を職員が交代で担当することで、清掃の仕方・「きれい」の基準を全職員・全生徒で共有する。						
望ましい人間関係の構築	○信頼し合える関係作り	○第2回目のアンケートでは、ト入学してよかったの回答は生徒80%、保護者89%。3年生に関しては生徒満足度100%。 ○「ソフトなタベ」の参加者は平均7.5人。	○保護者・生徒アンケートで満足度90%以上。 ○「ソフトなタベ」の参加者平均10人。	○年2回の生徒・保護者アンケートを継続して実施(9月・1月・3年・2月) ○保護者の横のつながりの強化 ○保護者総会の実施。「ソフトなタベ」は隔月で曜日(火・水)を変えての実施を継続する。						
	○クラスでの仲間作り	○毎月のお便りと共に保護者宛て要望記入の用紙を同封し、家庭での小さな不安や要望を早めに聞き出している。	○人間関係固定化の枠を外し、教室に入りづらい生徒の教室にいる時間をふやす。	○生徒に自主的に行事を計画させる。 1学期3年生、2学期2年生、3学期1年生が企画・実行する。						

年度当初				評価結果（10月）			最終評価			
評価項目	評価の具体項目	現状	目標（年度末の目指す姿）	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方法	評価	目標の達成状況	次年度引継ぎ事項等
キャリア教育の 充実・早期進路決定	<p>○幅広い視野・職業観の育成</p> <p>○進路希望と適性に対する自己理解の更なる促進</p> <p>○進路実現に向けての具体的・主体的な行動</p> <p>○ボランティア活動や地域交流活動への参加を図る</p>	<p>○調査票で進路希望を調査。</p> <p>○オープンキャンパスの在り方も学校によって様々なので、個々に対応していく。</p> <p>○卒業生進路決定17/19名（89%）</p> <p>○単位取得・出席状況に問題のない生徒はアルバイトを許可。ただし、事前に申請書を提出することで、バイト先を確認する。</p> <p>○ボランティア活動が休止が多い中、地域交流の新たな方法を検討する。</p>	<p>○幅広い選択肢の中から進路目標を見つけさせ、進路実現のため日々努力させる。</p> <p>○自己理解を促し、理想の自分を見つけさせる。</p> <p>○自らの進路について真剣に考えさせることで、具体的な行動を起こさせる。</p> <p>○自ら率先してボランティア活動や地域貢献する姿勢を身につけさせる。</p>	<p>○感染症の様子を見ながら、学校見学、出前授業、職業人講話の計画を立てる。</p> <p>○キャリア教育計画を視覚化し、学期ごとに各学年の動きを共有する。</p> <p>○社会経験・自己実現に向けたアルバイトを促す。</p> <p>○ボランティア参加の生徒を視覚化し、学期末にボランティア表彰を実施する。</p>						